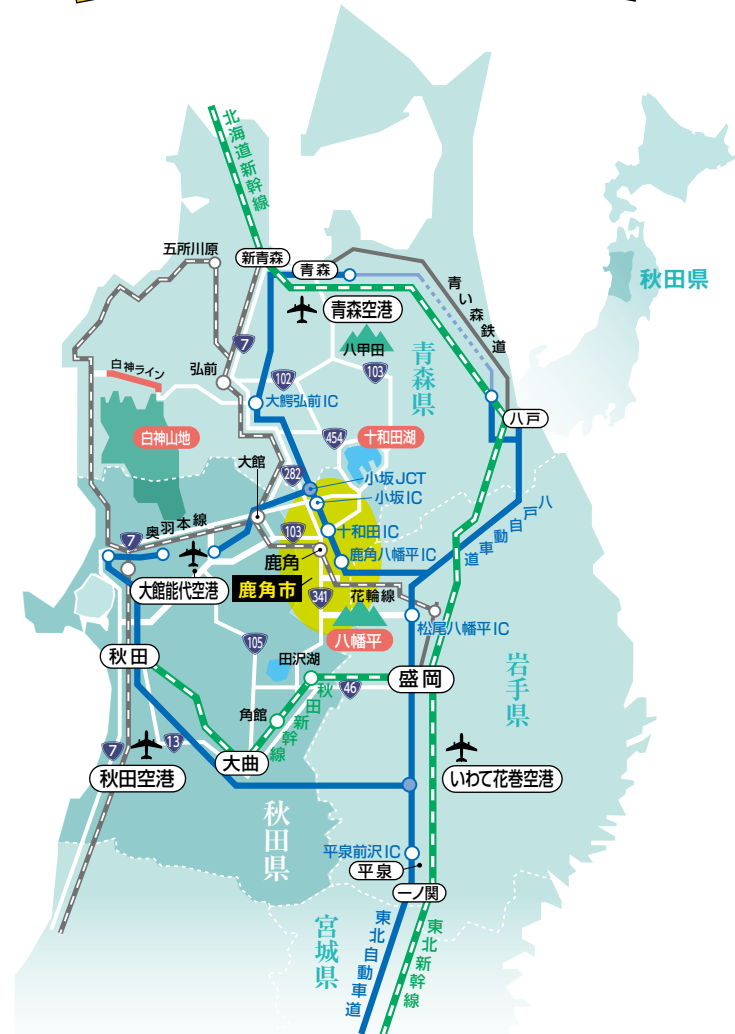


鹿角市へのアクセス



列車を利用する場合			
東京	東北新幹線 2時間10分	盛岡	花輪線 1時間56分
秋田	奥羽本線 1時間25分	大館	花輪線 52分
青森	奥羽本線 1時間9分		

※最速の時間を表示(要時刻表参照)

航空機を利用する場合			
東京(羽田)	ANA 70分	大館能代	車で 60分 (大館まで)
札幌(新千歳)	JAL・ANA 50分	青森	車で 60分 (浪岡IC)
東京(羽田)	JAL 75分	いわて花巻	車で 80分 (花巻IC)
名古屋(小牧)	FDA 80分		
大阪(伊丹)	JAL・ANA 90分		
札幌(新千歳)	JAL 55分		
名古屋(小牧)	JAL 70分		
大阪(伊丹)	JAL 80分		
福岡	JAL 115分		

便によっては運休期があります

高速バスを利用する場合			
盛岡	「みちのく号」 1時間20分	鹿角花輪	
池袋	夜行バス「ジュビター号」 8時間30分		

※最速の時間を表示(要時刻表参照)

車を利用する場合			
■鹿角八幡平ICを利用した場合			
盛岡IC	1時間	鹿角八幡平IC	
八戸IC	1時間		
仙台宮城IC	3時間		
浦和本線	6時間30分		
■十和田ICを利用した場合			
大鰐弘前IC	40分	十和田IC	
青森IC	1時間		
■国道7号または285号経由、103号を利用した場合			
秋田市	2時間30分	鹿角市	

秋田県鹿角市で学びませんか 一域学連携サポート体制のご紹介



お問い合わせ

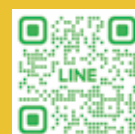
鹿角市総務部政策企画課

〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1 TEL:0186-30-0201

E-mail:kikaku@city.kazuno.lg.jp URL:https://www.city.kazuno.lg.jp



鹿角市HP



鹿角市公式LINE

秋田県鹿角市

広大な研究フィールドと 豊富な地域資源を提供

鹿角市は、北東北3県（秋田、青森、岩手）のほぼ中心に位置し、南北に十和田八幡平国立公園を抱え、奥羽山脈の山々と米代川に代表される清流が織りなす四季の風情が豊かな都市です。

市内には鹿角八幡平、十和田の2つのインターチェンジがあり、盛岡市、青森市、八戸市などの主要都市と1時間圏内で結ばれています。

市の面積は707.52㎢で、東西20.1km、南北52.3kmに及んでおり、米代川に沿って国道282号、東北自動車道、JR花輪線が通り、花輪盆地が開けています。

世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群（大湯環状列石）」



研究資源のご紹介



電力自給率400%超の豊富な再生可能エネルギー

鹿角市が生み出す再生可能エネルギーの電力量は、市全体の需要量の400%超。全国有数の永続地帯とされており、地熱・水力・風力・太陽光・バイオマスすべての再生可能エネルギーを活用できる環境にあります。

また、鹿角市は地域電力小売会社「かづのパワー」とともに電力の地産地消とカーボンニュートラルの推進を進めており、鹿角のエネルギーを活用した研究により、新たな産業やビジネスの創出を目指すことができます。



4つの世界遺産を持つ豊富な歴史と伝統文化

鹿角市は4つの世界遺産（大湯環状列石、大日堂舞楽、花輪祭の屋台行事、毛馬内の盆踊）を持つ観光文化都市であり、「世界遺産のまち」として全国、世界に認められる地域の実現に取り組んでいます。

地域の祭りや伝統的な行事には幅広い世代の市民が参加し、保存・伝承に努めています。学生が参加することによって、地域の伝統文化を直接体験しながら歴史的価値を学ぶことができます。



鹿角ブランドを支える豊富な農畜産物

十和田八幡平国立公園の大自然の恵みから、鹿角市では様々な農畜産物のブランド（かづの北限の桃、鹿角りんご、松館しばり大根、かづの牛、淡雪こまち、啓翁桜等）が生み出されています。

また、農業の生産性を向上させるために、スマート農業を推進していますが、今後は再生可能エネルギーの活用を進めながら、新たな付加価値を創出し、生産技術や農業経済の発展を目指すことができます。

補助制度のご紹介

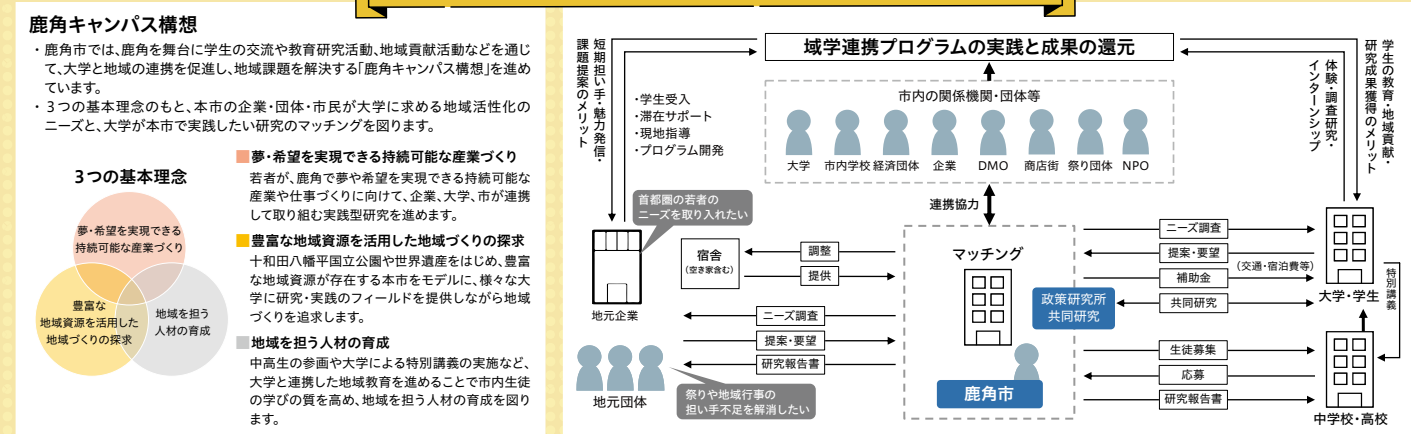
■地域課題の解決に向けた取組支援

域学連携活動支援補助金 **40万円(上限)**

対象者	大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の教職員と学生で構成する研究団体
対象事業	市内に宿泊して行う域学連携のうち、 地域が抱える課題等 について、市内の企業・団体等と連携して地域活性化のためのまちづくり活動を行う事業又は 市政研究所との共同研究 を通じて、 課題解決型の事業立案に取り組む事業 とし、いずれも住民公開講座型の成果報告を行うもの
対象経費	・旅費（交通費、宿泊費） ・需用費（事業の実施に必要な消耗品費、機材や車両等の燃料費、チラシ・ポスター等の印刷製本費） ・役務費（事業周知・連絡等に係る郵便料等の通信運搬費、保険料等） ・使用料及び賃借料（会場使用料及び車両、物品、器具等のレンタル・リース料等） ・その他市長が必要と認める経費

※補助率は補助対象経費の2分の1

鹿角キャンパス構想／域学連携のマッチング



受入事例①：武蔵野大学



かづの未来アカデミーによる街頭インタビュー

平成30年度から学外学修プログラムを受け入れており、これまで多くの学生が本市を訪れています。

令和2年度には包括連携協定を締結し、「中心市街地の活性化」や「UIターンによる起業研究」など、市内企業や団体等と連携した専門的かつ実践的な教育・研究プログラムを展開しています。

また、地元の中学生や高校生が大学生とチームを組みながら地域課題の解決を目指す探求型研究プログラム「かづの未来アカデミー」も実施しています。

■県外大学等の調査研究支援

県外大学等調査研究活動奨励補助金 **2,000円/日(上限20万円)**※

対象者	県外に所在する大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校の教職員と学生で構成される部、クラブ、サークル、ゼミナール等の団体
対象事業	次の要件のすべてを満たす調査研究活動 ・市内の宿泊施設又は民家に宿泊すること ・2泊3日以上連続した宿泊を伴うこと ・3人以上の団体で1回の調査研究活動の延べ宿泊人数が10人以上であること ・活動対象に本市が含まれ、地域住民と交流を伴うこと
対象経費	・本市までの往復交通費 ・市内での移動に係る交通費 ・宿泊施設の利用に係る宿泊料 ・民家を利用した宿泊に要する費用

※空き家や市の施設（鹿角トレーニングセンター、中滝ふるさと学舎）を利用する場合は600円/人泊

受入事例②：大正大学



市や首都圏企業等と行った関係人口創出会議

令和5年度より大正大学の地域共創コンソーシアムに参画し、課題解決型のインターンシップの受入を開始しています。

令和5年度は「交流型サード・プレイスによる賑わい創出の可能性を探る」を研究テーマに、市役所や企業等でのインタビュー及びディスカッションを行ったほか地元の高校生と一緒にフィールドワークを行いながら本市の実態を課題を考えました。